

2018年10月17日

各位

旭化成株式会社

他家 iPS 細胞由来軟骨製品に関するライセンス契約の締結について

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小堀 秀毅、以下「当社」）は、このたび、iPS アカデミアジャパン株式会社（本社：京都市左京区、社長：白橋 光臣、以下「iPS アカデミアジャパン」）と、iPS アカデミアジャパンが国立大学法人京都大学（以下「京都大学」）より許諾されている iPS 細胞技術に関する特許について通常実施権を取得するライセンス契約を締結しましたのでお知らせします。

1. 本契約の概要

本契約により iPS アカデミアジャパンに許諾されている iPS 細胞技術に関する特許のなかでも、全世界における外傷性関節軟骨損傷^{*1}を適応疾患とする治療用途を対象とした、iPS 細胞技術に関する特許の非独占的通常実施権と、軟骨分化誘導技術^{*2}に関する特許の独占的通常実施権を取得します。これにより、当社は、当該特許権が及ぶ全世界において、外傷性関節軟骨損傷を適応とする iPS 細胞由来の再生医療等製品を独占的に研究開発・製造販売する権利を保有し、iPS アカデミアジャパンに対して契約一時金および開発段階に応じた開発マイルストーンを支払います。また、販売後は、販売額に応じたロイヤルティおよび販売額の目標達成に応じた販売マイルストーンを支払います。

^{*1} 外傷性関節軟骨損傷… スポーツや交通事故による過度な負荷で生じた関節内骨折、脱臼、または靭帯損傷などの外傷が原因で関節軟骨が一部欠損する状態をいいます。これにより正常な関節運動が妨げられ、痛みが生じることで、スポーツや日常活動に支障を来します。

^{*2} 軟骨分化誘導技術 … iPS 細胞等の多能性幹細胞を、特殊な培養条件によって軟骨細胞に分化させるとともに細胞外マトリクスを生成させ軟骨様組織を作製する技術です。

2. 今後の展望

当社は今後、京都大学 iPS 細胞研究所 妻木 範行教授との共同研究を推進し、外傷性関節軟骨損傷を適応とする iPS 細胞由来の再生医療等製品の実用化に向けて、製造技術の確立を進めてまいります。

軟骨の再生医療技術を研究開発プラットフォームに加えることにより、当社グループの整形領域における取り組みをさらに強化していくことができるものと期待しております。

<iPS アカデミアジャパンについて>

京都大学 山中 伸弥教授らの研究成果である iPS 細胞に関する発明を広く世の中に普及させるために、2008 年 6 月京都大学によって設立され、2016 年には承認 TLO（技術移転機関：Technology Licensing Organization）として認められています。

iPS 細胞にかかる知的財産を管理し、これを用いて医療技術・医薬品の開発事業化に取り組む企業等に対して、特許ライセンスを行っています。

iPS アカデミアジャパンの詳細については下記 HP をご確認ください。

<http://ips-cell.net/j/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

TEL 03-6699-3008(関塚、片山、阿曾村)
Email : ak-houdou@om.asahi-kasei.co.jp